

財政事情の公表について（公告）

新潟県柏崎市「財政事情」の作成及び公表に関する条例（昭和23年条例第13号）及び新潟県柏崎市公営企業の設置等に関する条例（昭和41年条例第42号）の規定に基づき、令和5年（2023年）10月1日から令和6年（2024年）3月31日までの期間における財政事情及び公営企業の業務の状況を別紙のとおり公表する。

令和6年（2024年）6月1日

柏崎市副市長 西 巻 康 之

# 令和5年度（2023年度）下半期（10月～3月）の財政事情

## ●各会計別予算の執行状況

区 分 会 計 名	予 算 の 状 況	収入の状況【A】	支出の状況【B】	差 引 【A】－【B】	
	10月以降の補正額	10月以降の収入額	10月以降の支出額		
	最 終 予 算 額	3月末収入済額	3月末支出済額		
一 般 会 計	52億4,843万円	229億6,271万円	217億9,496万円	11億6,774万円	
	551億9,990万円	445億5,860万円	396億3,293万円	49億2,567万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業 (事業勘定)	1億5,862万円	42億9,286万円	45億281万円	△2億995万円
		87億7,390万円	75億811万円	76億4,296万円	△1億3,486万円
	国民健康保険事業 (直営診療施設勘定)	△985万円	2億1,463万円	1億6,428万円	5,035万円
		3億6,226万円	2億5,784万円	3億316万円	△4,532万円
	土 地 取 得 事 業	0万円	3,936万円	5,161万円	△1,226万円
		6,463万円	5,161万円	5,161万円	0万円
	墓 園 事 業	0万円	778万円	274万円	503万円
		812万円	844万円	705万円	140万円
	介 護 保 険	△2億2,343万円	38億5,272万円	46億2,416万円	△7億7,143万円
		95億2,798万円	79億6,448万円	82億7,226万円	△3億778万円
	後 期 高 齢 者 医 療	△221万円	5億7,690万円	6億3,198万円	△5,508万円
		10億6,958万円	9億5,766万円	10億4,741万円	△8,975万円
	合 計	51億7,156万円	319億4,695万円	317億7,255万円	1億7,440万円
		750億637万円	613億674万円	569億5,738万円	43億4,936万円

※端数整理の関係で、合計・差引の計算と合わない場合があります。

## ●一般会計の概要

当初予算472億円スタートした令和5年度（2023年度）の一般会計は、9月までの補正予算で7億4,640万円を減額し、その後3月までの補正予算で52億4,843万円を増額しましたので、令和4年度（2022年度）からの繰越事業費34億9,787万円を含めた最終予算額は、551億9,990万円となりました。

令和6年（2024年）3月末までの実際の収入（収入済額）は445億5,860万円で、最終予算額に対する割合は80.7%になっています。一方、実際の支出（支出済額）は396億3,293万円で、最終予算額に対する割合（執行率）は71.8%となっています。

## ●市税負担の状況

一般会計歳入予算のうち、市民の皆さまに負担していただく市民税や固定資産税などの市税は、150億1,093万円で、歳入全体の27.2%を占めており、市政運営のための大切な財源になっています。令和6年（2024年）3月末までに市民の皆さんから納めていただいた収入済額は、148億9,221万円（10月以降は、62億4,155万円）となっています。

	1人当たり	1世帯当たり
現計予算額 (551億9,990万円)	718,029円	1,593,623円
市税負担額 (150億1,093万円)	195,259円	433,366円

(令和6年（2024年）3月末現在 人口：76,877人、世帯数：34,638世帯)

※1人当たり及び1世帯当たりの金額は、小数点未満を四捨五入しています。

## ●財産の状況

主な市有財産の3月末現在の残高等は、次のとおりです。

	3月末の残高等	備 考	
		行政財産	普通財産
土 地	1,951万9,373㎡	1,093万7,214㎡	858万2,159㎡
建 物	44万6,267㎡	41万9,105㎡	2万7,162㎡
有価証券	5,463万円		
出 資 金	3億4,999万円		
基 金	177億1,798万円	1人当たり	1世帯当たり
		230,472円	511,519円

(令和6年(2024年)3月末現在 人口:76,877人、世帯数:34,638世帯)

※端数整理の関係で、合計が計算と合わない場合があります。

※基金とは、特定の目的のために積み立てる貯金のようなものです。

※1人当たり及び1世帯当たりの金額は、小数点未満を四捨五入しています。

## ●市債の状況

主に建設的な事業を行うときに、国や金融機関などから借り入れる資金を「市債」といいます。これは、「公債費」として長期にわたって返済していきます。一般会計における令和5年度(2023年度)年度下半期(10月から3月まで)の借入額は、34億5,660万円です。また、26億8,383万円(元金25億9,998万円、利子8,385万円)を市債の返済のために公債費として支出しました。

3月末現在における借入残高は、次のとおりです。

会 計 名	3月末現在の借入残高	1人当たり	1世帯当たり
一 般 会 計	445億6,097万円	579,640円	1,286,476円

(令和6年(2024年)3月末現在 人口:76,877人、世帯数:34,638世帯)

※1人当たり及び1世帯当たりの金額は、小数点未満を四捨五入しています。

## ●一時借入金の状況

年度途中では、支出に充てる資金が不足することがあります。このような資金不足の場合に、銀行などから一時的に借り入れて、年度内に返済するものを「一時借入金」といいます。令和5年度(2023年度)下半期(10月から翌年3月まで)における一時借入金は、ありません。

また、一時借入金のほかに市が持つ基金を一時的に支払資金などに融通すること(これを「基金の繰替運用」といいます。)により資金不足を補っています。

## 公営企業の業務の状況

公営企業は、市町村などが企業として独立採算を原則として経営する事業であり、経営の主な財源は皆さまからいただく料金、使用料によって賄われております。当市の場合は、水道・下水道事業がこれに当たります。

令和5年度（2023年度）における各事業の業務の状況及び令和6年度（2024年度）予算の概要は、次のとおりです。

### ●有収水量・使用量の状況

	有 収 水 量 ・ 使 用 量	前 年 度 比
水 道 有 収 水 量	1, 035万 <sup>3</sup> m	2. 5%減
下 水 道 使 用 量	815万 <sup>3</sup> m	2. 7%減

### ●経理の状況

#### 【水道事業】

(令和6年(2024年)3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	水 道	科 目	水 道
固 定 資 産	406億537万円	企 業 債	152億1,520万円
現 金 ・ 預 金	29億4,461万円	引 当 金	7億7,858万円
未 収 金	5億3,731万円	未 払 金	9億617万円
貸 倒 引 当 金	△68万円	前 受 金	240万円
貯 蔵 品	1,718万円	預 り 金	1,606万円
前 払 金	7,152万円	預 り 有 価 証 券	200万円
保 管 有 価 証 券	200万円	長 期 前 受 金	267億5,532万円
		収 益 化 累 計 額	△148億389万円
		資 本 金	143億1,914万円
		資 本 剰 余 金	1億5,373万円
		利 益 剰 余 金	8億3,260万円
合 計	441億7,731万円	合 計	441億7,731万円

#### 【下水道事業】

(令和6年(2024年)3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	下 水 道	科 目	下 水 道
固 定 資 産	817億7,831万円	企 業 債	223億9,775万円
現 金 ・ 預 金	18億8,042万円	引 当 金	6億9,487万円
未 収 金	9,106万円	未 払 金	4億4,532万円
貸 倒 引 当 金	△82万円	前 受 金	3,443万円
前 払 金	939万円	預 り 金	8,533万円
保 管 有 価 証 券	200万円	預 り 有 価 証 券	200万円
		長 期 前 受 金	799億8,324万円
		収 益 化 累 計 額	△318億8,960万円
		資 本 金	52億2,907万円
		資 本 剰 余 金	53億3,100万円
		利 益 剰 余 金	14億4,695万円
合 計	837億6,036万円	合 計	837億6,036万円

●令和6年度（2024年度）予算の概要

○予算の総額

水道事業	収益的収入	32億4,769万円	収益的支出	30億4,988万円
	資本的収入	9億8,468万円	資本的支出	25億1,811万円
	差引不足額15億3,343万円は損益勘定留保資金等で補填			

下水道事業	収益的収入	49億6,054万円	収益的支出	49億1,685万円
	資本的収入	35億8,240万円	資本的支出	55億1,305万円
	差引不足額19億3,065万円は損益勘定留保資金等で補填			

○予算の内容

水道事業	給水収益	24億8,381万円	職員給与費	2億9,585万円
	受注工事収益	853万円	修繕費	1億7,040万円
	その他営業雑収益	4,063万円	委託費	3億9,495万円
	他会計補助金	8,170万円	固定資産除却費	3,580万円
	企業債	6億7,890万円	減価償却費	17億4,489万円
	工事負担金	1億7,095万円	受注工事費	2,168万円
	他会計負担金	600万円	建設改良費	15億7,757万円
	出資金	1億2,882万円	企業債償還金	9億4,053万円
	長期前受金戻入	5億9,009万円	企業債支払利息	1億9,207万円
	その他	4,294万円	その他の経費	1億9,425万円

下水道事業	下水道使用料	15億4,272万円	職員給与費	2億4,162万円
	雨水負担金	4億3,728万円	修繕費	1億5,478万円
	他会計補助金	16億4,740万円	委託費	6億4,154万円
	企業債	20億9,820万円	固定資産除却費	4,780万円
	受益者負担金	1,814万円	減価償却費	31億5,903万円
	工事負担金	2,540万円	建設改良費	28億9,088万円
	出資金	4,780万円	企業債償還金	26億2,217万円
	国庫補助金	10億1,775万円	企業債支払利息	2億8,973万円
	県補助金	347万円	その他の経費	3億8,235万円
	長期前受金戻入	16億8,021万円		
	その他	2,457万円		